

市内NPO法人数 31 団体  
 当センター登録団体数 108 団体  
 当センター登録会員数 6,319 人  
 7月来館者数 2,120 人  
 7月印刷機利用枚数 37,180 枚

H27年7月末日現在

# ひびき



発行枚数 400枚

発行人 指定管理者 NPO法人 茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 田沼信之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。  
**会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等（1階）や大会講室・小会議室・パソコン室・和室・工作室（2階）・陶芸室（1階外倉庫隣り）**がご利用いただけます。  
**開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで) 2階各室は夜間(午後10時まで)利用可能です。**  
**休館日 = 月曜日および年末年始**  
 〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571  
 E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL http://r-shimin.sakura.ne.jp/  
 (Google又はYahooから「市民活動日本一」で検索→「龍ヶ崎市市民活動センター」をご覧ください。)

今月のトップニュース

センター長の「目指せ！市民活動日本一」その31

ビオトープの製作に着手しました。

龍ヶ崎市市民活動センターは昨年登録会員の紹介をいただき、日本鳥類保護連盟より「龍ヶ崎市市民活動バードピア」の認定を受けています。広大なセンター敷地と樹木に加え、周囲に森林を擁し、野鳥の往来も頻繁な施設全体を野鳥の楽園として進化させ、日本一を誇る市民活動センターとして更なる機能拡張を目指しています。



今回紹介する「ビオトープ」はギリシャ語の造語(bio(命) + topos(場所))で、人工的に形作られた小さな水辺で水草や植物、小魚等を飼育し、自然に近い形で多様な生物を復活させるものです。小中学校の構内に教師と生徒たちによって作られたり、また市民のための公園の一角に作られたりもしています。

最近当センターの利用が急増した子供達に、自然や科学についてより関心をもってもらえれば・・・と考えて7月に製作を開始しました。池は防水ゴム構造で直径4m弱、水深は20cm程度としましたが、古木や島を配し、危険の排除にも工夫をこらしました。又、龍ヶ崎市発明教室の皆さんからご提供いただいたソーラーパネルを利用した太陽光発電による水循環ポンプ装置も運転を開始しました。

市民活動センターでは、プランターの花植えや敷地内除草活動、さらに子供向科学実験用教材として畑の耕作提供を展開していますが、バードピア環境の推進を通して自然公園化に取り組めます。



龍ヶ崎まちづくり・つなぐネット

龍ヶ崎市役所 市民協働課 64-1111 内線437



「龍ヶ崎まちづくり・つなぐネット」とは、「市民活動に協力したい団体(学校・事業所等)」と「市民活動に協力してほしい団体(区・自治会・町内会、コミュニティセンター単位の地域コミュニティ、NPO法人、ボランティア団体)」との橋渡しを市が行い、市民活動の促進・活性化を図ることを目的として今年度からスタートした事業です。

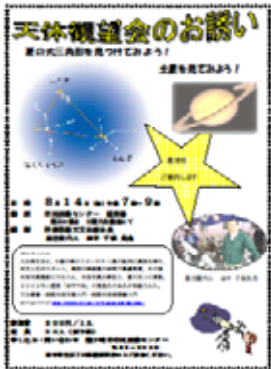
「活動するのに人手が足りない」「活動に必要な物資の提供があれば助かる」など考えている市民団体は、市に協力依頼を提出してください。双方の活動条件が合致した場合は、登録団体の学校・事業所等の協力を得ることができます。詳しくは市役所市民協働課まで。

8月22日に3回目のまいりゅう科学実験教室が開催されます。  
生徒達は①ペットボトルロケット製作②竹細工③電気工作④キッチンおもしろ実験⑤畑のいきものさがしの  
選択コースに分かれて7, 8月の学習を開始しました。さらに③のコースでは小中学生龍ヶ崎発明工夫展への  
出展に向けて夏休み補習コースをスタートしました。



## 夏休み天体観望会のお誘い

市民活動センター 63-0030



夏の大三角形や土星を見よう! ペルセウス座流星群も・・・

龍ヶ崎市在住で全国でご活躍されている星空案内人(関東天文協会理事)の田中千秋先生(ホームページ参照/著書多数)による観望会です。  
2002年に、小惑星8327番は「田中千秋」と命名されました。

日時 8月14日(金) 19~21時  
場所・申し込み先 市民活動センター  
雨天の場合は 大会議室で天体のお話し  
参加費 300円/人  
定員 50人  
\* 中学生以下は保護者同伴でご参加ください。

## インターネット放送番組の紹介

龍ヶ崎地方家族会 会長 長瀬紀一郎 090-5425-2236



平成14年に精神障害の子供を持つ家族への相談や対応、日常生活や地域社会での自立支援、精神障害についての正しい知識と普及のため設立されました。  
障害や病気などでお悩みの方は、まずは毎月開催される龍ヶ崎地方家族会に参加してみましよう。

番組は「市民活動センターホームページ」「インターネットライブ放送」から閲覧できます。

## 親子による米作りと生き物観察

大人の田んぼ塾 佐藤博代表 090-2751-0095

7月11日(土)に4回目が親子14人の参加で行われました。田んぼを見ながら代表者の佐藤さんは「稲は前回6月13日は約41cmだったのが、今は85cmになりました。最長は110cmになります。肥料は化学肥料を使用しないで、自分で米ぬかと油かすをEM菌(有用微生物群)で発酵したのをつくっています。化学肥料に入っていないアミノ酸、ビタミンが含まれます。稲は緑が濃いほど良作です。当方の稲も濃い緑です。」と話してくれました。田んぼには、イトトンボやイナゴの子ども等小さな生き物がいました。最後に佐藤さんが栽培して凍らせたスモモをいただきました。ごちそうさまでした。



青々と茂った田んぼ



イトトンボ

## 笠間市のみなさんが視察訪問されました。

全日本写真連盟ひたちの支部長の小松塚代表が世話役となり、同関東本部篠塚副委員長と笠間市産業経済部商工観光課2名の皆さんが龍ヶ崎市市民活動センターを視察訪問されました。笠間市の皆さんは昨年度に引き続き2度目(昨年は市民生活部市民活動課)となります。「市民活動日本一」をスローガンとして活動している当センターの紹介に引き続き、小松塚代表から、全日本写真連盟ひたちの支部専用展示ブースの運営状況の紹介をさせていただきました。



## 市民活動センター8月の予定

毎月の予定は、センターのホームページ「市民活動センターカレンダー」に記載いたしましたのでご覧ください。